

# A B r i e f N o t e N o . 1 8 5

発行日：2007.9.26

発行人：Matsuo Masayasu

## 北東北サイクリング（夫婦日本縦断） その1 / 3

東京都板橋区 河野 照夫

### （1）プロローグ

今回のサイクリングツアーは、「夫婦日本縦断サイクリング」の終盤として、もう一つは「レース直前夏季強化合宿」として9日間の予定で出かけました。

「日本縦断」は、中山道（brief note NO.147 参照）の完走とともに設定した目標で、今回のサイクリングが終われば、北海道宗谷岬から沖縄までのうち、島根県出雲市から大分県別府市までを残して家内とおおむね走り終えることとなります。

もう一つの方は、帰宅一週間後に開催される「全日本マウンテン・サイクリング in 乗鞍」のレースに出場するための準備です。このレースは長野県乗鞍高原をスタートし、岐阜県との県境にある乗鞍岳の標高2720mをゴールとする標高差1260m、距離20.5km、最大斜度15%のタイムトライアルです。

このような大目標を掲げてのサイクリングですから当然準備万端、体調良好で出発したかったのですが、実際は全く違う状態で出発することになりました。

家内は二ヶ月前のサイクリングからたった1回15kmしか走っていません。それというも日々体調不良で、私もとても誘う気にはなれないからでした。

私は医者の方の最終診断を聞いてから出発決定となり、しかもお盆と重なったので買える切符での日程となりました。従ってダボダボの安全牌を振ったスケジュールになりました。

### （2）8月9日 木曜日 曇りのち雨 冷や汗、感謝、感動

自転車とバッグを担いだ我々は東北新幹線を八戸で乗換え、青森県三沢で10時27分下車した。以前青森県大湊から下北半島を時計回りに走り、ここ三沢で終わっているのその続きを走るためである。

三沢駅前で自転車を組み立てようとする、工具が無い！買ったばかりのビデオカメラも！それらの入ったバッグを何処かに忘れてきたらしい。そう言えば二人とも網棚からバッグを降ろしていないことに気づいた。駅員さんに事情を説明し探してくれるようお願いする。駅員さんは快く引き受けてくれたが「確認には30-40分はかかる列車はこれから列車無線の使えない山岳地帯に入るため浅虫温泉を過ぎないとだめ。直ぐ分かったとしても青森で降ろすことはできず函館まで荷物は行ってしまいます」とのこと。我々の乗っていた列車は函館行きの特急列車だったのだ。今晚予約している十和田市郊外の温泉にはとても自転車で走りつくことはできそうもない。宿に電話で説明しキャンセルした。

昼ごはんを食べたりして待つ間に荷物発見の連絡が来た。しかし、「荷物は函館に向かってるので、函館に取りに行ってください」とのこと。駅員さんが取りに行く電車賃はあるのか心配してくれる。自転車やバッグを抱えて函館まで行く気にはなれない。それに費用も時間もかかる。ここはお願いするしかない。JRはJRでも「北海道と東北では別会社で多くの組織と上司の許可・協力が無いとできない」とのこと。お願いの甲斐あって普通列車に乗って青森まで忘れ物を取りに行くことになった。

函館から来る 15 時 41 分着の列車（忘れ物）を待つ間に駅前の宿を予約する。そうこうしている間にやっと忘れ物が届き、おばさん係員に痛くしかられながら荷物を受け取ることができた。でもこのおばさんの威圧的な態度で有難味も半減してしまった。でも助かりました。感謝です！

夜は厄落としに津軽三味線の生演奏と手踊りを見に行くことにした。出発前には考えても見なかったこと。三味の音と唄声、踊る子供たちの切れの良い動き、凄い迫力で感動、感激した。



計画：自宅 池袋 大宮（東北新幹線） 八戸（東北本線） 三沢

（サイクリング） 青森県十和田市ポニー温泉 走行計画：25.5 km

朝の予定：同上

実績：自宅 池袋 大宮（東北新幹線） 八戸（東北本線） 青森駅

走行実績：0 km

（予備日を充当）

### （3）8月10日 金曜日 雨のち晴れ 予定外、想定外

朝7時ホテルのレストランの開店と同時に朝食すませ、自転車を組み立てる。家内は乗って走るのは好きだが組み立てや分解は好まない。その点私は全て好きなので何時も二台組み立てる。遅いと少し叱られるのだが今朝は順調にいった。今日はどこまで走り何処に泊ることになるのか分からないが気持ちは何故かゆったりムードである。

雨具を着けて小雨の中を出発。走り出しておよそ4 km、国道103号線（以後R103と略記）浜田交差点で「止まって！」と大きな声を出して家内を止めた。「三内丸山遺跡」の標識があったのだ。私は「三内丸山遺跡に行こう」と言った。「距離はどのくらい？」と家内。「わからないけど行ってみたい」「距離は？」「近いと思う」この会話を繰り返した後付いて来て貰えることになった。

途中何度か雨脚が強くなりその度に雨宿りし道を確認しつつやっと「青森県立美術館」に着いた。ここにも寄りたくなかったがアドリブのアドリブは拙いとぐっところえて隣の「三

内丸山遺跡」に行く。雨は上がった。

三内丸山遺跡のガイドさんの説明をたっぷり聞いて昼食を取ったときは13時少し前になってしまったが、心もお腹も満ち足りて大満足である。

しかしR103に戻って南に下り始めると道は坂道となりきつくなって来た。凡そ1時間ほど進んで大休止。しかし焼山に行くには時間を使いすぎた。山道に入って二人とも亀の子状態。家内も久しぶりの自転車、暑さ、坂道で辛そうである。無理をせず一番近い酸ヶ湯(すかゆ)温泉とし、携帯が使えるうちに電話し幸い予約することが出来た。今晚はかの有名な「千人風呂」に入れる!

距離はおよそ20km、2-3時間あれば着く。ブナの原生林の中の道は快適であり、勾配もほどほどで走りやすいのだが体が着いてこない。小休止・大休止を繰り返してやっと着いたときは何と17時40分であった。

十和田ゴールドラインでエール交換



計画：三沢駅 十和田市ポニー温泉

走行計画：25.5km

朝の予定：青森駅前 浜田 酸ヶ湯温泉 笠松峠 蕨温泉

走行予定：43km

実績：青森駅前 浜田 三内丸山遺跡 浜田 酸ヶ湯温泉

走行実績：40.12km。

(4) 8月11日 土曜日 晴れ 登ってたのしく、下って楽しく、食べれば美味しい

昨夜のうちに作ってもらった朝食用のお握りを持って6時30分出発。いきなりガンガン登り昨夜の宿があったという間に下になった。しばらくして最高点「笠松峠」に着いた。見れば標高1040mと書



いてある。こんなに高い峠とは知らなかった。知っていたら違うルートにしていたのに。

ここからはご褒美のダウンヒル! ブナやアオモリトドマツの原生林の中を小鳥の囀りを聞きつつ ほってった体に朝の空気を沢山受けて下る。途中で寒くなり二人とも長袖を着

てまた下る。

### ブナの原生林を下る



やっと鳶温泉に着いて朝食のお握りを食べる。デザートに冷えている桃を一つ買って半分づつ食べた。甘くて冷たくてシアワセー。

8時10分出発し奥入瀬の入口焼山に到着。ここからやっと当初計画したコースになる。

奥入瀬渓谷に沿った道に入ると俄然交通量が増えた。水量が多く濁っている。しかし木立や木の葉越しに見る奥入瀬は木々の緑とともに実に美しい。道は緩やかな登りで景色を十分楽しみながらのサイクリングである。家内も昨夜のカラオケのお陰で今日はとても元気。私も久しぶりで歌を聴くことが出来たし大成功。

この道は十和田道、別名瀑布街道と呼ばれるだけあって滝が随所にあり休憩する口実には事欠かない。しかし見物しビデオばかり撮っていると道が進まない。

10時15分十和田湖子の口(ねのくち)に到着。茶店でざるうどん¥600円を注文。これが不味いことまずいこと！フニャフニャのベチョベチョ！お腹が空いていたが食べるのを止めた。不味いものを食べさせられると無性に腹が立つ。悲しくなってしまう。家内が自分のお握りを一つくれた。後から聞いた話だが家内もお腹が空いていたのにお握り一つで難儀したらしい。ごめんなさい。

乙女の像を見終わって12時30分、今夜の宿を何処にするかそろそろ決めないといけない。出来れば峠の向こうの小坂町まで行きたいが未だ30km位ある。運よく和井内には観光案内所が在った。小父さんに相談すると小坂では今夜「ふるさと太鼓祭り」があるという。それではと宿探しをお願いするとどこも一杯であったが最後の一軒でシングル二つが空いているとのことで迷ったが予約した。シングル二つは初めて。

くそ暑い中を4km登り発荷(はっか)峠に到着。茶店で景色を楽しみながら昼食の取り直しをした。カレーもピラフも美味しかった。バイク二台で東京から来たというアベックとしばしおしゃべり。おしゃべりは家内に不思議と力をつける。家内にとっておしゃべりは必要不可欠なエネルギー源である。ただ長い時は一時間を越すことがあるので注意が必要だ。

程なく終わって出発。R103から県道2号線(以後K2と略記)樹海ラインに入るとアップダウンを繰り返しながらどんどん登っていく。峠を越えたら下り坂と思い込んでいた家内にとってこれは予想外。しかも照りつける太陽！私は不平が聞こえない距離を置いて

て走ることにする。道は立派過ぎるほど立派。照り返しも凄い。しかし車は通らない。笹森展望台を過ぎると今度は豪快なダウンヒル。家内は50 kmぐらいのスピード。私は怖いので48 kmぐらいで下る。

小坂の町はかつて鉱山で栄えた町で、今夜の宿「ゴールドパレス」は世界各地から鉱山技術を習得しに来る人達のために作られた研修棟のようなホテルである。目や肌の色の違う人達も宿泊している。隣接するレストランの名前は「青銅館」。ここも是非訪れて見たかった町であった。

夜、「ふるさと大太鼓祭り」を見に行く。大人の女性ほどの重さの大太鼓が揃って打ち鳴らされる独特の響きに酔った。たまたま隣に居た地元の方が色々説明してくれたが大太鼓が鳴っていないなくても全く理解できなかった。申し訳ありません。



計画：十和田市ポニー温泉 焼山 奥入瀬溪谷 十和田湖子ノ口 休屋

走行計画：44.1 km

朝の予定：酸ヶ湯温泉 笠松峠 蔦温泉 焼山 奥入瀬 十和田湖子ノ口 休屋

和井内

走行予定：55 km

実績：酸ヶ湯温泉 笠松峠 蔦温泉 焼山 奥入瀬 十和田湖子ノ口 (船) 休屋

和井内 発荷峠 笹森展望台 小坂町

走行実績：66.47 km

つづく